

旭川赤十字病院医学雑誌編集および投稿規程

【編 集】

1. 本誌は、医学・医療に関する論文で未発表のもの、ならびに年報（学会発表、その他研究会発表、講演および雑誌掲載論文・記事など）を掲載する。
2. 論文には、総説、臨床研究（原著論文）、症例報告を含む。
3. 本誌は年1回発行し、原稿の締め切りは毎年1月31日とする。
4. 本誌の編集は旭川赤十字病院医学雑誌編集委員が行う。
5. 論文掲載の採否は2名以上の審査員の審査結果に基づき編集委員会が決定する。
6. 本誌に掲載された原稿の著作権は、旭川赤十字病院に帰属する。また、本誌の内容は「日本赤十字社医学図書館“赤十字リポジトリ”」上に公開され、また著書抄録が「医中誌 Web」（医学中央雑誌）、「JDreamⅢ」「J-GLOBAL」（国立研究開発法人科学技術振興機構）上にて公開されるものとする。
7. 掲載料は無料とし、希望する筆頭著者には別冊10部を贈呈する。
8. この規定は旭川赤十字病院医学雑誌ワーキンググループで変更されることがある。

【投稿資格】

筆頭著者は旭川赤十字病院勤務者に限る。ただし、編集委員から依頼した者はこの限りではない。

【倫理的配慮】

臨床研究の場合はヘルシンキ宣言（ヒトを対象とする医学研究の倫理的原則、1964年6月世界医師会総会）を基礎とし、原則として当院倫理委員会による承認が必要である。原稿には倫理委員会の承認を得ていることを記載する。

【個人情報保護】

臨床研究を投稿する際は、研究対象者のプライバシーと個人情報の機密性を守るため、
患者が特定されないよう十分に配慮する。

1. 患者個人の特定が可能な医療情報は記載しない。
2. 論文の作成上、患者写真を提示することが不可欠な場合に限り、患者が特定できないように処理をした上で使用する。（例：顔面写真では目を隠す、あるいは該当部分を拡大写真とするなど）

【インフォームド・コンセント】

症例報告等、患者情報の記載のある論文の投稿に際しては、患者からインフォームド・
コンセントを受けなければならない。取得した「同意書」のコピーを投稿時に提出する。未成年の患者、知的障害あるいは認知機能低下を持つ対象患者については、代諾者等
からインフォームド・コンセントを受けなければならない。書面で同意が取得できない

場合は、同意を得たことを公式に記録に残す。

(例：本症例の提示については、患者からインフォームド・コンセントを文書にて取得した、インフォームド・コンセントを口頭で取得し、その旨を診療録に記載した。など)

【利益相反】

投稿にあたってすべての著者は投稿時点の過去1年間における利益相反(COI)について、所定の様式にて申告する。利益相反の有無については論文の末尾、謝辞または文献の前に記載する。COI 状態がない場合は、「申告すべきCOI 状態はない」と記載する。

【投稿規定】

1. 原稿は和文または英文とする。
2. 論文の種類定義は以下とする。

総 説	特定の医学・医療分野の主題について、関連文献、資料に基づいて総括的に記したもの
臨床研究 (原著論文)	臨床医学における特定の主題について、研究目的、研究方法を明示して実施し、結果を考察したもの
症例報告	特定の疾患、病態に関して示唆に含む臨床例の報告

3. 原稿の長さは以下とする。

	原稿文字数	和文要約	英文要約	Key words	文献数
総 説	8,000 字以内	800 字以内	400 語以内	5 語以内	30 編以内
臨床研究 (原著論文)	8,000 字以内	800 字以内	400 語以内	5 語以内	20 編以内
症例報告	6,000 字以内	400 字以内	200 語以内	5 語以内	15 編以内

*図表は、1 枚につき大は 800 字、小は 400 字をめやすに換算する。

4. 原稿は次の順序に従って記載する。

1) タイトルページ

表題は和文 50 字以内、原則として英文タイトルを記載する。表題には原則として略語を使用しない。

- 2) 著者は 10 名以内とする。著者のローマ字表記は名、姓の順とし、名の第 1 文字は大文字、第 2 文字以下は小文字とし、姓はすべて大文字とする。連名の場合はカンマ(,)でつなぐ。(例：Taro YAMADA)

- 3) 5語以内の **Key Words** を付記する.
- 4) 所属機関名および英文名所属機関名(共著者の所属が異なる場合は右肩に上付き番号を記載し区別する)
- 5) 要約
臨床研究, 症例報告には和文要約と, 原則として英文要約を添付する.
- 6) 本文
- (1) 本文原稿は標準的な **Font** (MS 明朝、MS ゴシックなど)を用いた **Word** で作成し, **10.5 pt** の文字を使用し, 余白は上下左右 **25mm** とする.
- (2) 英文・数字は半角とし, カタカナは全角とする.
- (3) 読点はコンマ (,) とし, 句点は (。) とする.
- (4) 『はじめに』『目的』『対象・方法』(看護の場合『倫理的配慮』『結果・成績』『考察』『結論』『文献』もしくは, 『はじめに』『症例・臨床的事項』『考察』『文献』の形式で記載する.
- (5) 見出しの表記方法
- a. 大項目の表記は, **I. II. III. . . .** と **ローマ数字** (大文字) で記載する.
- b. 中項目の表記は, **1. 2. 3. . . .** とし, 数字の右はピリオドする.
- c. 小項目の表記は, **(1) (2) (3) . . .** とする.
- 7) 文献
引用文献は, 論文と直接関連のあるものととどめ, 本文中の該当箇所の右肩に^{1) 2)}のように記載順に番号をつける. 本文の最後に **1), 2)**, と引用順に記載する. (「引用文献の記載項目と記載例」を参照)
- 8) 図表
- (1) 図(写真を含む)および表は登場順にそれぞれ番号をつけ, 本文中に挿入箇所を明記する.
- (2) 図はそのまま印刷製版できる明瞭な図とし, 表は画像ではなく文字を抽出できる形式 (**Excel , Word、PowerPoint**) で作成する.
- (3) 図表は原稿とは別にまとめ, 表題および簡単な説明をつける. (表題は図・写真の場合は下, 表の場合は上につける)
- (4) 他誌掲載の図表を転載使用する場合は出所を明示する.
- (5) カラー印刷ではないため図表はモノクロとなる. 図表はグレースケールでの作成が望ましい。
- 9) その他
- (1) 略語
略語は使用しない. 本文中に略語を使用する場合は, 初出箇所に「フルネーム(略語)」の形式で記載する. 例) graft versus host disease (GVHD)
または, 文中に頻回に使用される長い術語は, 初出箇所に省略せず記載し, (以下○○と略す)と記載する.
- (2) 商品名など登録商標には, 「**Registerd** (登録された)」の® (**R** マーク) を右肩に

表記する。

- (3) 学会発表したものについては、文末に「本研究は第〇回 〇〇学会(地域)にて発表した」の文言を記載する。

5. 以上の原稿を電子媒体で提出する(メール添付可)。

【引用文献の記載項目と記載例】

雑誌	著者名：表題，雑誌名，巻(号)，引用頁(初め-終り)，発行年(西暦)。 (共著者は3名まで表記し，それ以外は他とする。英文の場合“et al.”とする)
	和文例) 日赤太郎 他：感染動態における好中球の役割，感染症誌 65，275-283，1993。 英文例) Gines P, Cardenas A, Arroyo V, et al : Management of cirrhosis and ascites, N Engl J Med 350 : 1646-1654, 2010.
書籍 (単行本)	著者名：書籍名(版)，出版社，引用頁(初め-終り)，発行年(西暦)。
	和文例) 日赤太郎：内科疾患と皮膚病変，永井書店，205-213，2010。 英文例) Charles R. S.et al : The metabolic basis of inherited disease, McGraw-Hill, 212-218, 2003.
ガイド ライン	編集：ガイドライン名，版数，出版社，引用頁(初め-終り)，発行年(西暦)。
	パーキンソン病治療ガイドライン作成委員会編：パーキンソン病治療ガイドライン 2011，医学書院，2-4，2011。
Web サイト	著者名(掲載の年月日)，Web ページの題名，Web サイトの名称，アクセス年月日，URL。 または、発行機関名，(調査/発行年次)，表題，アクセス年月日，URL。 例) 文部科学省(2014)，人を対象とする医学系研究に関する倫理指針，2015 年 4 月 10 日 閲覧， http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf .
電子 雑誌	・DOI がある学術論文 －著者名(出版年)：論文名，誌名，巻(号)，頁.doi: xx,xxxxxx (アクセス年月日) －Author, A. A., & Author, B. B. (Year):Title of article, Title of journal, vol(no), xxx-xxx. doi: xx,xxxxxx (accessed Year-Month-Day)
	・DOI のない学術論文 －著者名(出版年)：論文名，誌名，巻(号)，頁. http://www.xxxxxxx (アクセス年月日) －Author, A. A., & Author, B. B. (Year):Title of article, Title of journal, vol(no), xxx-xxx. Retrieved from http://www.xxxxxxx (accessed Year-Month-Day)
電子 書	・DOI がある書籍 －著者名(出版年)：書籍名，doi: xx,xxxxxx (アクセス年月日)

籍	ーAuthor, A. A., & Author, B. B. (Year):Title of book, doi: xx,xxxxxx (accessed Year-Month-Day) ・DOI のない書籍 ー著者名(出版年):書籍名, http://www.xxxxxxx(アクセス年月日) ーAuthor, A. A., & Author, B. B. (Year):Title of book., Retrieved from http://www.xxxxxxx (ac-cessed Year-Month-Day)
---	--

*DOI とは、「デジタルオブジェクト識別子 (Digital Object Identifier)」の頭文字であり、電子化された学術論文、書籍、論文付随情報、研究データなどに付与される国際的な識別子をいう。コンテンツの所在情報 (URL) 等とともに管理される。

〈年 報〉

1 月から 12 月末日の期間における以下のものを、翌年 1 月 31 日まで提出する。

1. 学会発表等：全国学会，地方会，研究会等に区分し，演題名，発表者名，発表学会名（第〇回も必ず，発表年（西暦）．月，場所
2. 講演：演題名，講演者名，講演会名，講演年（西暦）．月，場所
3. 掲載論文：発表者名，論文題名，発表雑誌名，巻，頁～頁，発行年（西暦）．
4. 論文以外の雑誌投稿も同様の報告とする．

2016 年 10 月 14 日作成

2017 年 3 月 10 日改訂

2017 年 7 月 31 日改訂

2018 年 1 月 10 日改訂

2019 年 3 月 27 日改訂

2021 年 6 月 1 日改訂

2023 年 4 月 1 日改訂